

第 37 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会 大会要項

Ver. **20220425**

主催協賛	日本学生自転車競技連盟 公益財団法人日本自転車競技連盟 公益財団法人 J K A 井上ゴム工業株式会社 株式会社クレーマージャパン	公益社団法人全国競輪施行者協議会 株式会社パールイズミ やぶはら高原イベント実行委員会	一般社団法人日本競輪選手会 WIN AND WIN CO. LTD. (WIAWIS) (予定)
後援協力	木祖村 木祖村観光協会 独立行政法人水資源機構味噌川ダム管理所 株式会社日直商会	木曽広域消防本部	井上ゴム工業株式会社 (予定)
期 日	2022 年 6 月 9 日 (木) チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者 Zoom 会議 20 時より 2022 年 6 月 11 日 (土) 女子受付・ゼッケン配布 12 時 00 分 女子競技開始 13 時 00 分 男子受付・ゼッケン配布 14 時 30 分~15 時 00 分 2022 年 6 月 12 日 (日) 当日の男子受付・ゼッケン配布はなし 男子競技開始 08 時 00 分		
会 場	長野県木曽郡木祖村 奥木曽湖周回コース 1 周 9.0 km サークット (フィニッシュは +1 km、柳沢尾根公園頂上) URL: http://www.water.go.jp/chubu/misogawa/		
大会主旨	本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟 (以下、「本連盟」という) に登録した選手によるロード種目の優勝者を決める大会とする。		
競技種目	個人ロードレース 男子 154 km (9 km×17 周+1 km) 女子 91 km (9 km×10 周+1 km)		
参加資格	1. 当該年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟 (以下、「JCF」と言う) 登録競技者のうち、本連盟加盟校の登録選手であって、本連盟大会参加基準を満たしている者。 2. 前項の規定にかかわらず、女子については本連盟が認めた JCF 登録選手のオープン参加を認める。 3. 男子のレースの出走者数は最大 150 名とし、参加申込者数が 150 名を超えた場合、下記の順で参加者を選出する。当日不出走の選手がいても繰上げは行わない。尚、女子については出走者数等の制限は特にない。 (1) 本年度のロード選手権ランキング (2) 前年度のロード選手権ランキング (3) 本年度ロード・クラス 1 の者 (4) 本年度ロードカテゴリ・クラス 2 要件③ (新一年生) 該当者 (5) 本年度ロード・クラス 2 の者、本年度 RCS ランキング保持者、定員を越える場合はランキング順 (6) 上記にて定員に達しない場合、本年度ロード・クラス 2 の者の前年度 RCS ランキング順 4. 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。 5. また、試合に参加するにあたって本大会参加選手並びにチームスタッフについては、前項の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿った感染防止対策として本連盟 HP 上の以下アドレスに掲載してある「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを参加条件とする。順守事項が守られていない場合には本大会への参加を認めない。 「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」 https://jicf.info/covid-19-pandemic-events-protocols/ 尚、本通知の他に、大会ごとに必要な事項を取りまとめた感染防止対策に関するコミュニケを別途発表する場合もあるので、注意すること。 6. さらに本大会の参加各校については、男子エントリー選手数に応じて、2022 年 6 月 12 日 (日) のみ以下の通り役員を供出することも参加条件とする。エントリー 8~13 名で 1 名、14~20 名で 2 名、21 名以上は 3 名とする。供出役員に審判ライセンスの有無は問わない。但し、供出役員は本大会参加選手並びにチームスタッフと同様に「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを参加条件とする。なお、供出役員については 1 名につき 3000 円までの PCR 検査費用もしくは抗原検査の費用を実費で補助し、昼食を支給する (但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない)。また、供出役員の氏名、性別、学年又は年齢および有資格 (審判・チームアテンダント) のライセンス番号をエントリー用紙に必ず記入すること。 7. エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催 3 日前の 22 時まで事務局宛に変更後のエントリー用紙をメールで送ること。尚、変更後の者についても前項 3. の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを条件とする。また、当日エントリー選手数が減少した場合でも、供出役員の人数は減らすことはできない。また、供出役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には、代替りの者を出すこと。代替りの者を出せない場合には、該当する大学・チームに対して、1 名の不足につき 10000 円のペナルティを科すことを原則とする。但し、新型コロナ感染の陽性者が出たことで、一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。供出役員についての対応を協議した上で改めて指示する。詳細については別途発表するコミュニケを参照すること。		
参加申込	1. 参加を希望する選手は所定の様式にて、男子はエントリー用紙のみ 5 月 13 日 (金) 必着で下記エントリー専用電子メールアドレスへ送付すること。女子は申込期限及び参加料納入期限を同じく 5 月 13 日 (金) 必		

着とする。男女ともエントリー専用電子メールアドレス（2020jicf.championship@gmail.com）への到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはファクシミリにて事務局アドレス宛、期限内に送付する事。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。なお、男子については、上記の締切日以後のエントリー用紙提出はいかなる理由があろうとも、一切認めない。なお、大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

2. 参加申込者数が150名を超えた場合には、上記の参加資格3.の方法により選出を行い、本連盟HP上に150名の参加申込可能者のリストを掲載する。参加申込可能者は本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、本エントリー手続きが完了する。なお、150名の参加申込可能者のリストが掲載されるか または申込者全員が参加申込可能者である旨の発表があるまで参加料を振り込んでではない。振込期限はその発表の際に指定するので、それ以前に振り込まないこと。
3. 参加料については、学連登記者は1名につき6,000円、オープン参加者は1名につき8,000円とする。参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について、振込元に大会コード名0611と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。（オープン参加は個人名とする。）
振込先 長野県労働金庫（ろうきん） 諏訪湖支店 普通 9686208 口座名義 日本学生自転車競技連盟
参加料振込完了後、受付完了者リストを本連盟 web サイトに発表するので、各自受付済みであることを確認のこと。

4. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した経費を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
5. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず（怪我等の正当事由がない場合でも）ペナルティを課さないこととする。ただし、必ず事前に事務局（jicf@remus.dti.ne.jp）まで電子メールで欠場の連絡をすること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合には参加料は返却しない。

会場入場

1. 本大会に来場する全ての選手、チームスタッフ、大会役員、メディア関係者、その他の関係者は前述の参加資格5.にあるように、本連盟のHP上に掲載してある「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを入場の条件とする。尚、本大会における観客を含む来場者に対する規制の詳細については、別途発表するコミュニケを参照すること。
2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手数+1名を上限（選手1名ならば、2名まで）として会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。但し、参加資格6.の供出役員についてはチームスタッフの合計人数に含まない。また、チームスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場への入場を許可しない。
3. エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後のスタッフについても前述の参加資格5.の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを変更の条件とする。
4. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。また、選手の参加資格4.にありますように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、メディア関係者についても前述の参加資格5.の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを来場の条件とします。もし、順守事項が守られていない場合には競技場内への入場をお断り申し上げます。選手及び競技役員の方の安全のためご理解ください。

選手受付

1. ライセンスコントロールは事前にデータ上でを行い、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケ発表の受付場所にてゼッケンとプレートを受け取る。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。
2. 本大会は出走前の出走サインは行わない。上記にあるようにゼッケン配布時に大会受付で欠場を申し出ること。また、参加選手は自転車・ヘルメットを持参して出走15分前までにバイク・インスペクションをセルフチェックで行うこと。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。自転車器材については選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。詳細は別途発表するコミュニケにて確認すること。レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。
3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

賞典・式典

1. 開会式・閉会式については別途発表するコミュニケにて詳細をご確認ください。表彰式は第3位以上のみ競技終了後、準備が整い次第、フィニッシュライン付近にて行う。
2. 男子は、優勝者にチャンピオン・ジャージ、賞品、賞状を授与し、2・3位には賞品、賞状を、4位から10位までには賞状を授与する。
3. 本連盟登記女子選手は、オープン参加選手を除いた順位で、優勝者にチャンピオン・ジャージを授与し、

第3位以内に賞品、賞状を授与する。

4. 女子のオープン参加選手はオープン参加者のみの順位で、優勝者に賞品を授与し、第3位以内に賞状を授与する。

事故措置 1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。

2. 各選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構(JADA)への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408
Tel 090-2207-2369 (兼当日緊急連絡先) Fax 03-6804-2329

特別規則

第1条(競技)

1. 代車、代輪の交換は別途コミニケ発表の指定箇所のピットにおいて可能とするが、基本的に各チーム1名のみの待機とし、チーム同士の間隔を審判役員の指示した通りにあけること。
2. 本大会においては認められる事故によるニュートラリゼーションの適用はない。

第2条(スタート位置)

男子は、出走選手のうち、昨年度の2020全日本学生個人ロードレース大会における上位10名までの選手に最前列でのスタートを認める。

第3条(共通器材車)

男・女共に主催者にて共通器材車を用意する。これに積載する代輪は各校にて用意し、スタート地点に持参すること。また、当連盟所有の代輪を若干数は用意するが、ディスクブレーキ用のホイールは用意しない。

第4条(食料補給)

飲食料の補給は、別途コミニケ発表の「補給エリア」にてのみ認める。補給許可周回数は別途コミニケにて告知する。

第5条(失格・棄権)

1. 原則として、主集団より一定時間遅れた選手及びコミッセルが完走不可能と判断した選手は、失格とし競技より除外する。打ち切り時間は別途コミニケにて定める。
2. 競技を中止あるいは除外された選手は、速やかにゼッケンを外すか、ユニフォームを裏返してゼッケンを見えなくすること。ゼッケンとプレートは、返却する必要はないが、必ず持ち帰ること。

第6条(チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者会議)

2022年6月9日(木)20時00分より、事前にリモートでチーム監督/代表者・感染対策責任者会議を行う。参加チームの監督、感染対策チーム責任者は必ず参加すること。会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付します。大会会場への移動中などにより会議を欠席する場合は、必ず会議前日の22時00分までに学連携帯090-2207-2369へ連絡をし、事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)までその旨のメールを送り、事務局の許可を得ること。尚、無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

第7条(その他)

1. ジュニアのギア比の制限は翌年3月31日時点の年齢を以て適用する。レースの前後に適宜ギア比の検査を行うことがある。
2. 一般公道を走行可能な装備で参加のこと。ヘルメット・反射テープの装着も必須とする。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。